

すてき発見わたしたちの園のシート

	令和2年度にわたしたちの園が 頑張ったこと・工夫したこと
子ども のため に	<p>○4月のうちに懇談を行い、子ども1人1人について、家庭とよく話し合いをした。                  お互いの考えや子どもについて理解を深め、日々の保育に生かすことができた。</p> <p>○コロナ禍でも子どもたちが安心して生活するために、感染防止策として常に環境を整備・消毒・換気など心がけたり、この時期に体験させたい活動を安全に行う方法を考えたりしながら過ごした。</p> <p>○駐車場が狭いため、子どもたちの安全を第一に考え、送迎時の車の誘導をきめ細やかに行うことができた。送迎時に職員から明るく挨拶をすることで、子どもたちも挨拶ができるようになった。</p> <p>○食育では、献立に使う材料を子どもたちに見せたり、米とぎ、野菜切りなど実践したりした。食べる事に意欲をもたせ、苦手な食べ物もアイデアをだして克服できるように働きかけた。</p> <p>○季節ごとに行事を取り入れ、歌ったり、踊ったり、演奏したり、劇をしたり、絵画を展示する機会をつくった。</p> <p>○和太鼓、マーチング講習を行い子どもたちの能力を高めたり、自信をつけさせたり、ほめられたりする活動ができた。</p> <p>○ヤマスポーツクラブに依頼し、指導員に来園してもらい、以上児は体育教室を行った。運動能力だけでなく、ルールやチームワークなども学べた。</p>
保護者 のため に	<p>○入園式で保育理念・目標を説明し、毎日の送迎での会話や4月の個別懇談において、保護者の不安や質問にできるだけ答えるように努力した。また相談や要望などがあった場合には、適切に対応することができた。</p> <p>○新型コロナウイルス感染拡大防止策で保育参観の回数は少なくなったが、園だよりの中で遊んでいる様子を見てもらい安心していただけるよう写真を載せた。また、大きな行事については保護者の方にも考えをうかがいながら取り入れることで、園側の方針に理解をもらいながら行事が出来たと思う。</p> <p>○給食の展示、レシピの配布をし、食育計画で目標としている「・楽しく食べる子ども・思いやりや感謝の気持ちを持つ子ども」になるように食育活動を続けてきた。</p> <p>○例年通りのふれあい体験はできなかったが、職員と一緒に伝統行事や楽しい行事を行うことで安心してもらえた。</p> <p>○園だより(さくらだより)やクラスだよりを発行し、保育の成果や子どもたちの様子を伝えた。又、写真を取り入れることで、よりわかりやすく伝えることができた。</p> <p>○保護者には運動会・生活発表会に参加してもらい、子どもの成長を実感し、子育ての楽しみを共感することができた。</p>
組織 として	<p>○新型コロナウイルス感染拡大防止策を職員間で常に話し合い、安全な保育の姿を深く考え対策を取ったことで、感染することなく過ごせたことは職員全員の意識の高さのおかげだと思う</p> <p>○職員会議や行事後の反省会などを通して、園の方針、活動の目的、問題意識の共有などを職員間で共通理解し、協力することができた。来年度へ向けてさらに良い方法を考えられた。</p> <p>○普段から職員でよく会話をし、子どもに関することなど情報交換をしたり、助言をしてもらったりして、コミュニケーションがよくとれていた。</p> <p>○未就園児や地域の方を招いた、子育て支援や地域支援はコロナ禍のため実施できず、また外部に出向いての絵本の読み聞かせなどといった子育て支援はできなく残念であった。しかし、年長児の祖父母には球根植えを行い交流の場を作って一緒に楽しむことができてよかった。</p>